

平成 30 年 9 月 5 日

養父市議会議長 深 澤 巧 様

養父市文化会館（仮称）建設調査特別委員会
委員長 足立 隆啓

養父市文化会館（仮称）建設調査特別委員会中間報告

閉会中において、本委員会の所管事務につき、調査したことを次のとおり中間報告する。

記

1 調査年月日 平成 30 年 8 月 28 日（火）

2 調査事項

（1）平成 30 年度養父市文化会館等整備工事に係る債務負担行為限度額の増額について

（2）養父市文化会館（仮称）整備事業の工程について

3 調査内容

市長、市民生活部文化会館建設推進室及びCM（コンストラクション・マネジメント）業務受託者の阪急コンストラクション・マネジメント株式会社から、養父市文化会館等整備工事に係る債務負担行為限度額の増額及び事業工程について、資料の提供と説明を受け調査を行った。

（1）平成 30 年度養父市文化会館等整備工事に係る債務負担行為限度額の増額について

工事費に係る債務負担行為限度額の増額については、3月定例会で22億7,100万円を議決したが、このたび基本設計の第一段階を終えコスト検証の結果、資材費及び人件費等の高騰により、平成26年の事業費事前調査時に想定していた工事費28億円よりも6.79%工事原価の物価指数が上昇したことなどにより、7億2,900万円を増額して30億円に変更したい。これにより当初は概ね35億円と見込んでいた総事業費は、用地費の増額とあわせ現時点では40億円となる。今後ECI方式により実施設計を進めるなかで事業費の削減に努めていくとの説明であった。

なお、事業実施期間は平成31年度と32年度で変更はない。

(2) 養父市文化会館（仮称）整備事業の工程について

施工業者選定の工程は、10月から施工業者を公募し質疑を受け、11月には質疑に対する回答、12月に技術提案を受け、1月にプレゼンテーション・ヒアリング、2月に技術提案の審査を行い優先交渉権者の決定を行う予定である。

〈まとめ〉

実施設計に当たり、「品質を下げずにコストを低減できる工法」また、「コストを上げずに品質を向上できる工法」があると思われるので、施工業者からの技術提案を受け審査委員会で慎重に審査し、市民と議会への積極的な情報開示と説明責任を果たしつつ、誰からも愛されるよりよい施設となるよう事業を推進されたい。

本委員会としては、まちづくりの拠点となる養父市文化会館（仮称）の施設整備に向け、更に調査を行う予定である。